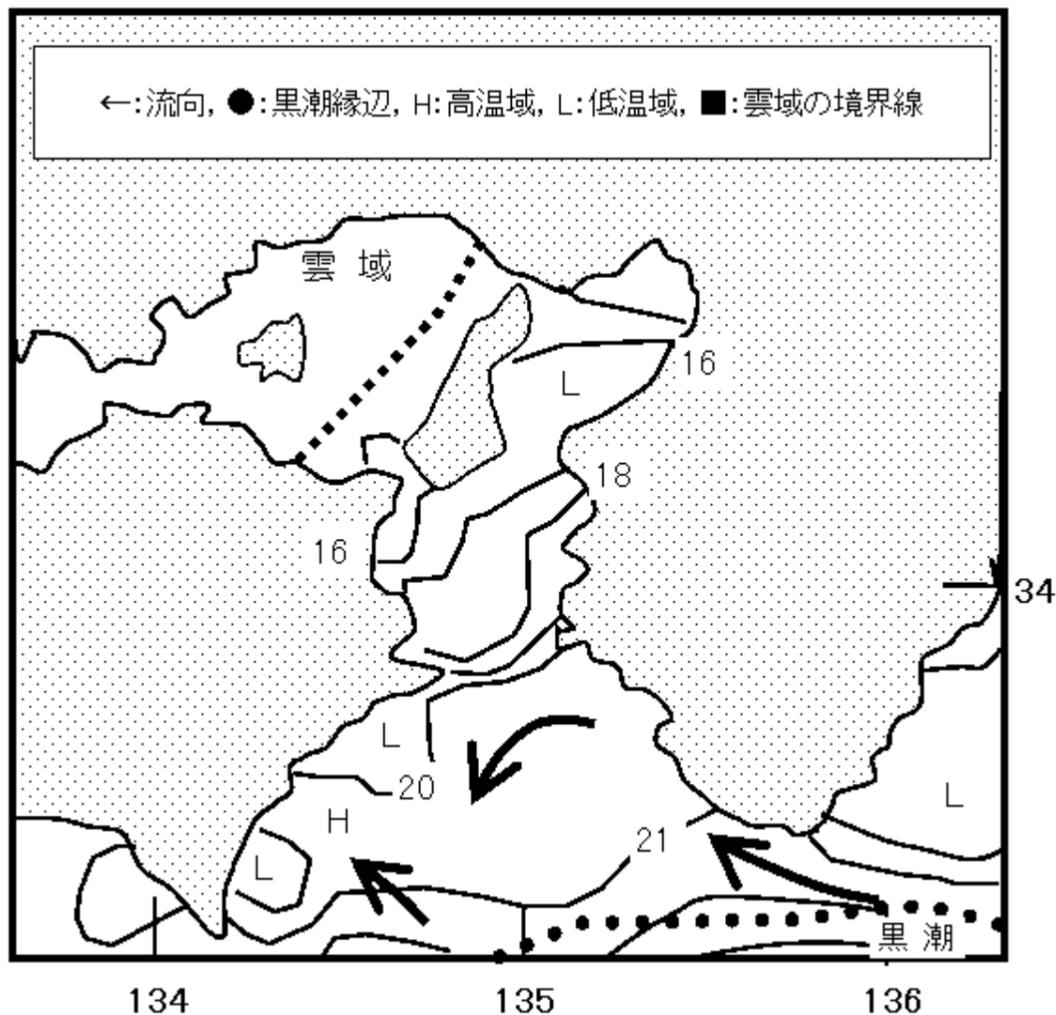


1. 海況の経過

1) 黒潮

5/7 発行海上保安庁海洋情報部海洋速報によると黒潮流軸までの距離は室戸岬沖では南南東方向に30マイルで「やや離岸」、潮岬沖では南方向に30マイルで「やや離岸」。
 黒潮本流の表面水温は24℃前後。

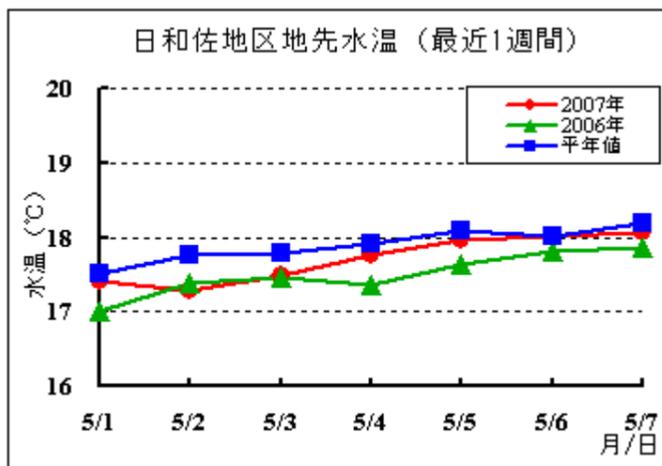
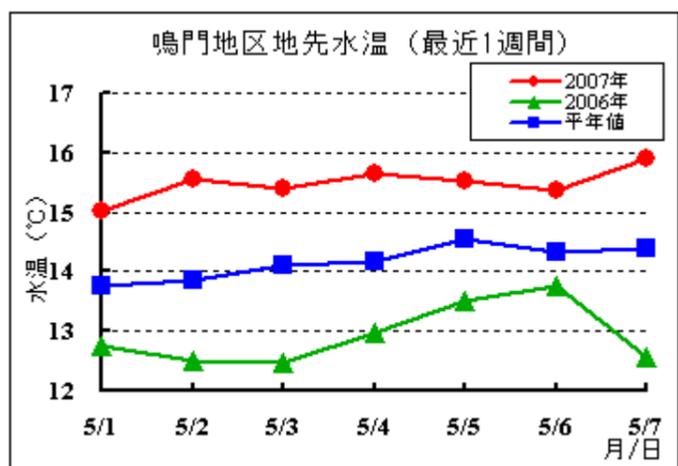


2) 海況

上に和歌山県の人工衛星画像海況速報(H19.5.2~3)を示した。
 表面水温は播磨灘が14~15℃、紀伊水道内部が15~19℃、外域が19~21℃である。20℃台の黒潮系暖水が和歌山県側から紀伊水道外域に反時計回りで流入している。
 また、紀伊水道沖合の21℃台の黒潮系暖水が海部沿岸に流入している。

3) 地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」~「高め」の15.4~15.9℃で、日和佐地区が「やや低め」~「平年並み」の17.3~18.0℃で、牟岐地区は「やや低め」~「平年並み」の17.3~18.2℃で推移した。



2. 漁況の経過

播磨灘から海部沿岸海区の下灘でクラゲが大量に発生している。

延縄:海部沿岸で、大、中主体にアマダイが0.4トン(1日1隻あたり15kg)、大主体にソコイトヨリが0.2トン(同4kg)、イトヨリが0.3トン(同7kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、小主体にマアジが5.3トン(同96kg)、マイワシが4.9トン(同120kg)、ウルメイワシが0.9トン(同49kg)、スルメイカが0.6トン(同14kg)、キビナゴが0.5トン(同48kg)、大主体にアオリイカが0.4トン(同7kg)、カタクチイワシが0.4トン(同53kg)、マルアジが0.5トン(同120kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、小主体にスルメイカが8.7トン(同1.1トン)、マルソウダが5.3トン(同665kg)、小小主体にマルアジが2.5トン(同318kg)、小主体にマサバが0.3トン(同38kg)、特大主体にマアジが0.3トン(同36kg)、中主体にマダイが0.3トン(同35kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、大主体にマアジが0.5トン(同11kg)、海部沖合で特大主体にカツオが2.5トン(同253kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが44.2トン(同325kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)4月26日～5月2日 県下8漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アマダイ	28	431	15	大、中主体
		ソコイトヨリ	66	245	4	大主体
		イトヨリ	44	298	7	
小型定置網		マアジ	55	5,259	96	小主体
		マイワシ	41	4,913	120	
		ウルメイワシ	19	922	49	
		スルメイカ	46	626	14	
		キビナゴ	11	525	48	
		アオリイカ	59	435	7	大主体
		カタクチイワシ	7	374	53	
		マルアジ	4	479	120	
		大型定置網	スルメイカ	8	8,660	1,083
マルソウダ			8	5,317	665	
マルアジ	8		2,547	318	小小主体	
マサバ	8		307	38	小主体	
マアジ	8		287	36	特大主体	
マダイ	8		282	35	中主体	
マアジ	43		487	11	大主体	
釣り	海部沖合	カツオ	10	2,526	253	特大主体
	パッチ網	紀伊水道	シラス	136	44,200	325

モジャコ漁模様

5月7日の聞き取りによると県内のモジャコ漁については流れ藻が少なく、モジャコも少ない模様。サイズは小さいものが主体。

週間予報:

黒潮は、室戸岬が「接岸」～「やや離岸」、潮岬が「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の16～17℃、日和佐地先で「平年並み」の18～19℃で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の釣りでイサキが1.9トン(1日1隻あたり51kg)、パッチ網でシラスが13.0トン(同245kg)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、ブリが1.6トン、メジロが28.1トン、マアジが2.2トン、さば類が2.0トン、マイワシ23.5トン、ウルメイワシ59.1トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上